

イメージしてください。

「CGを駆使したハリウッド映画の撮影現場」を。

映画は、フィルムで撮影してからデジタル処理します。

あなたのフィルムにもデジタルの加工を、どうぞ。



あの超大作も、あの話題作も同じです。「デジタルで美しい映像を」というテレビコマーシャルも、扎扎实フィルムで撮影していたりして。映像のクオリティや味わいを考えたらフィルム、それを自由に加工できるのがデジタルの魅力。あなたの「映像」にも、同じことができます。

劇場の大スクリーンで見る映画は、通常35mmのムービーカメラで撮影されています。つまり大迫力の映画の1コマも、ふつうの写真フィルムと同じサイズで撮影されているのです。そう思えば、フィルムの1コマの情報量って、すごい！映像のプロフェッショナルが求める質感や情感には、やっぱりフィルムでなくてはならない。……そう言いながら、フジフィルムはじつはデジタル画像のリーディングカンパニーでもあるのですが。業務用、プロ用の世界ではすでにおなじみです。デジタルには、自由に加工できる利便性があります。これは、一般の方にとっても面白い。映像の、あらゆる

領域を得意とするフジフィルムは、フィルムの美しさとデジタルの面白さを生かした、ハイブリッドな楽しみ方を提案しています。それは、撮影したフィルムをデジタルデータに書き換えた「フジカラーCD」です。いつものお店で、同時プリントと一緒に注文してください。カメラとパソコンと、そしてイメージがあれば、あなたも映像作家に。imageする、とは、映像をつくること。そして、想像する、創造することです。

国境やことばを越えたコミュニケーション。それが、image。人間の知的精神的活動が発達するかぎり、imageの創造と蓄積は加速度的に拡大しつづけるでしょう。私たちは過去に例のない質と量と速度の「imageの世紀」を、すでに迎えています。光学、化学、電子工学から人間を知る認知科学の領域まで。「imageを科学する」世界的フロンティアとして、フジフィルムは21世紀のメインストリートを進みます。

VOL.   
フジカラーCD  
  
I&I-Imaging & Information  
www.fujifilm.co.jp

imageする会社。FUJIFILM